

平成 21 年 4 月 20 日現在

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2005～2008

課題番号：17320098

研究課題名（和文）

銀の流通と石見銀山周辺地域に関する歴史学的研究

研究課題名（英文）

The study of the history about silver circulation and lwami-silver-mine outskirts area

研究代表者

小林 准士（KOBAYASHI JUNJI）

島根大学・法文学部・准教授

研究者番号：80294354

研究成果の概要：

毛利氏の支配下にあった温泉津の状況、および領域を超えた商人の活動と戦国大名の支配との関わり等について、明らかにできた。また、近世の石見銀山の経営について、その歴史の変遷の概要が明らかとなり、幕領の陣屋町であった大森町の運営の仕組みや、銀山への食料と資金の供給における石見銀山附幕領の機能についても、今後の研究の基礎ができた。

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2005 年度	4,100,000	0	4,100,000
2006 年度	2,800,000	0	2,800,000
2007 年度	1,900,000	570,000	2,470,000
2008 年度	1,400,000	420,000	1,820,000
年度			
総計	10,200,000	990,000	11,190,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・日本史

キーワード：石見銀山、温泉津、たたら製鉄、人口

1. 研究開始当初の背景

(1) 石見銀山遺跡の世界遺産登録にむけた準備にかかわる調査がある程度進展しており、従前と比べれば史料の収集ができつつあった。また、石見銀山の開発から最盛期にかけて、銀の流通の実態について関心が高まり、研究が急速に進みつつあった。

(2) 島根県出雲地方をフィールドにして、近世・近代のたたら製鉄の関連史料の整理及び調査・研究が進みつつある状況にあり、同時期に出雲地方同様にたたら製鉄が盛んであった石見銀山周辺地域に関しても調査研

究の進展が望まれていた。

(3) 島根大学附属図書館蔵の熊谷家文書中の宗門人別改帳（石見銀山附幕領の村々分）については、すでにデータベースが存在していた。

2. 研究の目的

(1) 16世紀前半に石見銀山が発見された後に生産された銀の国外流出及び国内流通の条件を解明すること。

(2) 石見銀山附幕領の歴史的特質を、支配

機構、村々の組織、人口の動態、産業構造の各側面について検討し、銀山経営とのかかわりについて明らかにすること。

3. 研究の方法

(1) 16世紀から17世紀前半にかけての石見銀山最盛期に即して、国内における支配の変遷および流通拠点の実態解明と、とくに銀の輸出先である中国(明)における銀の産出条件及び貨幣流通の実態とを関連づけて、調査研究を進めた。

(2) 江戸時代における石見銀山の経営について明らかにするとともに、銀山とその周辺地域との関係を探るために、支配の拠点であった都市の性格の解明、および周辺地域の産業であるたたら製鉄と銀山経営との関係などに焦点をあてて調査研究を進めた。

4. 研究成果

(1) 島根大学附属図書館蔵の林家文書(島根県大田市五十猛町)及び熊谷家文書(島根県大田市大森町)の整理を進展させることができた。

(2) 島根大学附属図書館蔵の熊谷家文書中の宗門人別改帳について、既存データベースの修正作業を進めることができた。

(3) 伊藤家文書(島根県大田市温泉津町)の一部文書(中世の温泉関係史料)について、翻刻した(本多博之)。

(4) 石見銀山附幕府領の陣屋町大森の町役人の記録である「大森町宮前組 用留」のうち、「町役勤向定書」を翻刻し紹介した(島根史学会会報46、小林准士)。

(5) 香川大学図書館神原文庫蔵の石見国大森代官所の牢屋関係史料を翻刻し紹介した(山陰研究1、小林准士)。

(6) 大田市立中央図書館寄託・熊谷家文書のうち、大森代官所掛屋熊谷家及び同所笹ヶ谷銅山師堀家などの苗字帯刀御免に関する史料を翻刻し紹介した(岩城卓二)。

(7) 16世紀における石見銀山周辺地域の流通の実態と戦国大名(大内氏・尼子氏・毛利氏)による支配について、分析を深めることができた(佐伯徳哉)。

(8) 16世紀における明国内の銀の流通実態について検討し、北辺における銀の使用開始が銀流入増大の大きな契機になったこと

を明らかにした(丸橋充拓)。

(9) 1570年代における斬学顔の廢銀用錢論の背景に、華北山西において税制としての銀納が十分に普及していなかったことなどがあることを指摘した(佐々木愛)。

(10) 近世における石見銀山の経営の変遷に関する通史的理解を示し、なおかつ銀山町の社会構造について解明した(仲野義文『銀山社会の解明—近世石見銀山の経営と社会』)。

(11) 近世に石見銀山附幕領の陣屋町であった大森町の性格と運営の仕組みについて解明した(小林准士)。

(12) 大森町町人熊谷家の役割や、熊谷家と大森代官所役人の関係について明らかにした(岩城卓二)。

(13) 石見銀山における買請米の制度について、基礎的事項を明らかにした。また、たたら製鉄業者(鉄師)などから得る買請米代銀が灰吹銀の買い上げに用いられていることから、石見銀山領支配と銀山経営とを一体的に把握すべきことを指摘した(小林准士)。

(14) 石見銀山領の内外に大森代官所の資金を貸し付けて利子を銀山の経営資金に充当する銀山貸付銀の制度とたたら製鉄の経営との関わりについて明らかにした(鳥谷智文)。

(15) 石見銀山領におけるたたら製鉄は、鉦の所有者と経営者が分離するという傾向にあることを指摘した(相良英輔)。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 12 件)

① 小林准士, 石見銀山附幕領における買請米制度に関する基礎的考察, 社会文化論集, 第5号, 27-43, 2009, 査読無

(レポジトリ)

<http://ap09.lib.shimane-u.ac.jp/article.php?flag=j&output=table&arid=6867>

② 廣嶋清志, 幕末石見銀山領の同居別株からみた家制度, 経済科学論集, 第35号, 1-22, 2009, 査読無

③ 岩城卓二, 掛屋になること—幕末社会の情報蒐集—, 倉敷の歴史, 第19号, 34-47, 2009,

査読無

④小林准士, 石見銀山附幕領大森町における町役人の職務と文書管理, 島根史学会会報, 第46号, 1-18, 2008, 査読無

⑤小林准士, 石見国大森代官所牢屋関係史料の紹介、山陰研究, 第1号, 53-71, 2008, 査読無

⑥本多博之, 中近世移行期の巖島と町衆, 巖島研究, 第4号, 1-8, 2008, 査読無

⑦本多博之, 巖島門前町と住人構成, 中国四国歴史地理学協会年報, 第4号, 22-35, 2008年, 査読無

⑧鳥谷智文, 櫻井家所蔵史料「往古ヨリ鉄方御用留抜書」, 島根史学会会報, 第46号, 19-42, 2008, 査読無

⑨廣嶋清志, 「熊谷家文書」の石見銀山領宗門改帳と人口研究, 淞雲, 第9号, 8-9, 2008, 査読無

⑩廣嶋清志, 石見銀山領の宗門別出生率の分析, 宗門改帳からみる山陰の近世社会, 第2号, 65-71, 2007, 査読無

⑪相良英輔, たたら関係史料にみる鉄の流通, 淞雲, 第5号, 13-13, 2006, 査読無

⑫仲野義文, 近世期石見銀山における吹屋の経営について, 島根史学会会報, 第43/44号, 1-16, 2006, 査読無

〔学会発表〕(計 2 件)

①本多博之, 戦国大名毛利氏の石見銀山・温泉津支配, 広島史学研究会大会日本史部会, 2008年10月26日, 広島大学。

②廣嶋清志, 石見銀山領の宗門別出生率: 浄土真宗は高いか?, 日本人口学会第60回大会, 2008年6月8日, 日本女子大。

〔図書〕(計 9 件)

①仲野義文, 清文堂出版, 銀山社会の解明—近世石見銀山の経営と社会, 2009, 214

②相良英輔, 島根大学, 松江藩鉄師頭取 田部家の研究, 2009, 1-34 (第一章 田部家の由来とたたら製鉄業の展開)

③鳥谷智文, 島根大学, 松江藩鉄師頭取 田部家の研究, 2009, 35-64 (「文化拾貳年 舊

記」の検討

④丸橋充拓, 島根大学, 銀の流通と石見銀山周辺地域に関する歴史学的研究, 2009, 横組7-17 (中華帝国の財政と東アジアの銀流通)

⑤佐々木愛, 島根大学, 銀の流通と石見銀山周辺地域に関する歴史学的研究, 2009, 横組18-29 (山西巡撫・斬学顔の廢銀用錢論)

⑥本多博之, 島根大学, 銀の流通と石見銀山周辺地域に関する歴史学的研究, 2009, 縦組1-21 (史料紹介 温泉津伊藤家所蔵湯役銀関係史料)

⑦佐伯徳哉, 島根大学, 銀の流通と石見銀山周辺地域に関する歴史学的研究, 2009, 縦組22-38 (尼子氏興亡・毛利氏勃興をめぐる領域的支配と地域—出雲西部・石見地域を中心に—)

⑧岩城卓二, 島根大学, 銀の流通と石見銀山周辺地域に関する歴史学的研究, 2009, 縦組39-55 (史料紹介 奇特者御賞賜一件)

⑨鳥谷智文, 島根大学, 銀の流通と石見銀山周辺地域に関する歴史学的研究, 2009, 縦組116-133 (近世後期における石見国安濃郡志学村富屋・富久屋の金融業について)

〔産業財産権〕
○出願状況 (計 件)

○取得状況 (計 件)

〔その他〕

6. 研究組織

(1) 研究代表者

小林 准士 (KOBAYASHI JUNJI)
島根大学法文学部准教授
研究者番号：80294354

(2) 研究分担者

佐々木 愛 (SASAKI MEGUMI)
島根大学法文学部准教授
研究者番号：00362905

丸橋 充拓 (MARUHASHI MITSUHIRO)
島根大学法文学部准教授
研究者番号：10325029

廣嶋 清志 (HIROSHIMA KIYOSHI)
島根大学法文学部教授
研究者番号：20284010

相良 英輔 (SAGARA EISUKE)
島根大学教育学部特任教授
研究者番号：70124071

岩城 卓二 (IWAKI TAKUJI)
京都大学人文科学研究所准教授
研究者番号：20232639

本多 博之 (HONDA HIROYUKI)
広島大学大学院文学研究科准教授
研究者番号：30268669

鳥谷 智文 (TOYA TOMOHUMI)
松江工業高等専門学校人文科学科准教授
研究者番号：10280439

(3) 連携研究者

佐伯 徳哉 (SAEKI NORIYA)
島根県立古代出雲歴史博物館学芸員

仲野 義文 (NAKANO YOSHIFUMI)
石見银山資料館館長